



World Supersport Championship
round - 6 ENGLAND Donington Park Circuit May 27

大久保光一予戦 5 番手 決勝リタイヤ

World Supersport Championship (WSS) 第 6 戦決勝が 5 月 27 日にイギリスのドニントンパークサーキットで開催されました。WSS 転戦中は、イギリスに本拠地を置いている大久保にとって、ドニントンでの戦いは、第二の故郷ともいべき場所でした。また、前戦で、レースを走り切り、ここから反撃だと誓ってもしました。

金曜日の走行は雨で、ウェットコンディション、1 本目の走行は 15 番手、2 本目はハーフウェットとなり 13 番手となり、スーパーポールへの進出はなりませんでしたが、翌日、ドライコンディションで行われた敗者復活となるスーパーポール 1 でトップタイムを叩きだし、12 人で争うスーパーポール進出を決め、そこで 5 番手タイムを記録します。チームスタッフも驚く躍進で、ピット内は、大きな喜びに包まれました。決勝への期待も大きくなります。

決勝スタートで、トップ集団から遅れてしまった大久保は、そこへ追いつこうとします。ですが、フロントが切れ込んで 5 ラップ目に痛恨の転倒でリタイヤとなってしまいました。予選グリッドが良かっただけに失望も大きいのですが、5 番手タイムを記録出来たことは、大久保が前進していることの表れです。残りのレースで、必ず、結果を引き寄せようと誓うことになりました。

大久保光

「ここから、巻き返して行こうと思い挑みました。初日の走行のウェットコンディションでは、タイムを上げられなかったのですが、ドライコンディションでは、気持ちよく乗ることが出来てタイムアップすることが出来ました。WSS はヤマハ勢の好調が続いているので、そこに割って入る結果に、自分でも驚くほど、チームスタッフが喜んでくれました。その期待に応えたかったし、応援してくれる皆さんに、いい報告がしたいと思っていました。自分では、ポジションを上げようと、ただ、それだけを考えて走っていたのですが、フロントから切れ込んでしまって、対処できないままに転倒してしまいました。正直、落ち込んでいます。

でも、落ち込んだままでは前に進めないなので、気持ちを切り替えようと思います。ここでは、これまでの課題だった、予選の順位を上げることが出来ました。5 番手で満足しているわけではありませんが、タイムアップ出来るということは自信になりました。いい報告が出来ずに申し訳ない気持ちでいっぱいです。ですが、確実に前進しています。それを、しっかりと結果として残したい。今は、それしか考えていません」

※次戦は 6 月 10 日チェコで開催されます。

◆チームリリースに関するお問い合わせ先 : no1_hikari@yahoo.co.jp [大久保 光]

